



▲大正地区応急救護



▲高台へ避難する住民（志和地区）



▲自衛隊による炊き出し（興津地区）

防災訓練特集

9月3日、四万十町の各地で防災訓練が行われました。

大正地域では、自主防災組織大正支部主催の「大正地区防災訓練」を実施。南海トラフ地震の発生を想定し、午前8時に住民ら約680名が各地域の避難所に避難しました。



▲地域の各危険箇所を確認する参加者（北ノ川小学校）



▲大正東部地区防災講演会

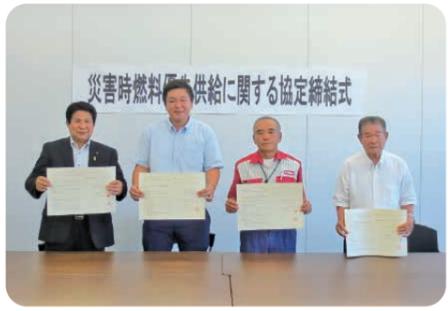
大正東部地区は、避難訓練終了後、北ノ川小学校で炊出し訓練、起震車体験、防災学習会が行われたほか大正北部地区では、避難所運営マニュアルに基づき、避難者の誘導（レイアウト）訓練が行われました。

窪川地域でも「興津・志和地区津波避難訓練」を実施し、両地区の住民約480名が各避難所に避難しました。避難訓練終了後、興津地区では自衛隊による炊き出し訓練・志和地区では昭和南海トラフ地震の写真展が行われました。

災害時燃料供給の協定書を締結しました

四万十町がごみ収集を委託する特定非営利活動法人四万十町環境・雇用創出協会と、同協会事務所直近の(有)玉川石油店、(有)橋本石油店が、大規模災害の発生時において住民の衛生環境維持のため滞りなくごみ収集が行えるよう、燃料供給に関する協定書を締結しました。

災害発生時の廃棄物対策は、収集計画の策定など、今後も関係事業者と協力し推進していきます。



寸劇で特殊詐欺被害防止を呼びかけ

9月8日、JA四万十で開かれた「共済友の会・年金友の会合同感謝祭」で、窪川警察署員、役場職員、農協職員と住民で構成された演劇集団「劇団おまわり」が、お年寄りの特殊詐欺被害を防ごうと寸劇を実施しました。今回は、老人ホーム入所権を切り口とした特殊詐欺のお話で、観客からは、「もしかしたら自分もだまされるかも」「テレビや新聞で詐欺被害のことをよく聞かすが、取り合わんのが一番やね」という感想も聞かれ、特殊詐欺について注意喚起するよい機会となりました。

こういった特殊詐欺による被害は、今年も四万十町で発生していませんが、8月30日現在、高知県内で30件、被害総額約4,720万円に上っています。

今後も、行政と関係機関が連携し特殊詐欺被害防止を呼びかけていきますので、不信な電話や勧誘には十分注意し、少しでも怪しいと感じた場合は周囲の人や警察にご相談ください。



四万十町保育所保護者会連合会 スポーツ大会（スカッシュバレー）

優勝
ひかり保育所
(ひかり 100%)



準優勝
東又保育所
(東又イレブン石油)



第3位
松葉川保育所
(松葉川 A)



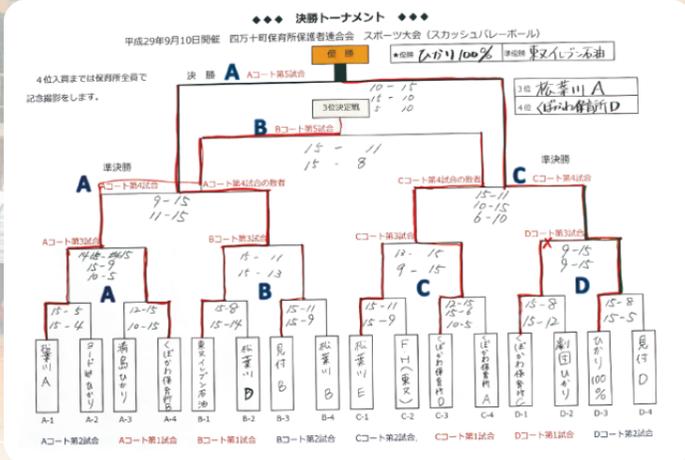
第4位
くぼかわ保育所
(くぼかわ保育所 D)



9月10日、窪川地域の7つの保育所の保護者でつくる四万十町保育所保護者会連合会主催で保護者間の交流を目的としたスポーツ大会が開催され、22チームが参加しました。カラフルなお揃いのユニフォームで結束を固め、日頃の練習の成果を柔らかな黒いボールにぶつけ合う真剣勝負は、迫力満点の試合となりました。

午前9時から開会式の後、5ブロック総当たりの予選が15点先取3セットマッチ（3セット目は10点先取）の保護連独自のルールで行われました。午後1時からは勝ち抜き戦のため、会場の熱気と歓声は4つのゾーン全てで最高潮となり、16チームが熱戦を繰り広げました。

準決勝では決勝戦への切符をかけ東又と松葉川、くぼかわとひかりが対戦。両者一歩も譲らない試合となりました。決勝戦は東又とひかりの対戦となり、これもフルセットの激闘の末、今年はひかりが優勝。握手を交わすなど、互いを健闘しあう姿もみられ、今大会を通じて深めた保護者間の交流が、子どもたちが成長しても続いてほしいと思います。



第18回 梶原招待野球交流大会で十川中学校が優勝!

7月29日、30日の2日間、梶原町で県内の中学校12チームによる梶原招待野球交流大会が開催されました。この日は猛暑の中、各チームとも勝利に向けて頑張る試合が繰り広げられましたが、決勝戦は梶原中学校との接戦をものにした十川中学校が、3-1で勝利し優勝しました。選手の皆さん、おめでとうございます。

